

# 口永良部島の山体変動観測結果（2004年4月～9月）\*

Ground deformation at Kuchinoerabu-jima volcano (April - September 2004)

産業技術総合研究所地質調査総合センター\*\*

京都大学防災研究所\*\*\*

Geological Survey of Japan, AIST

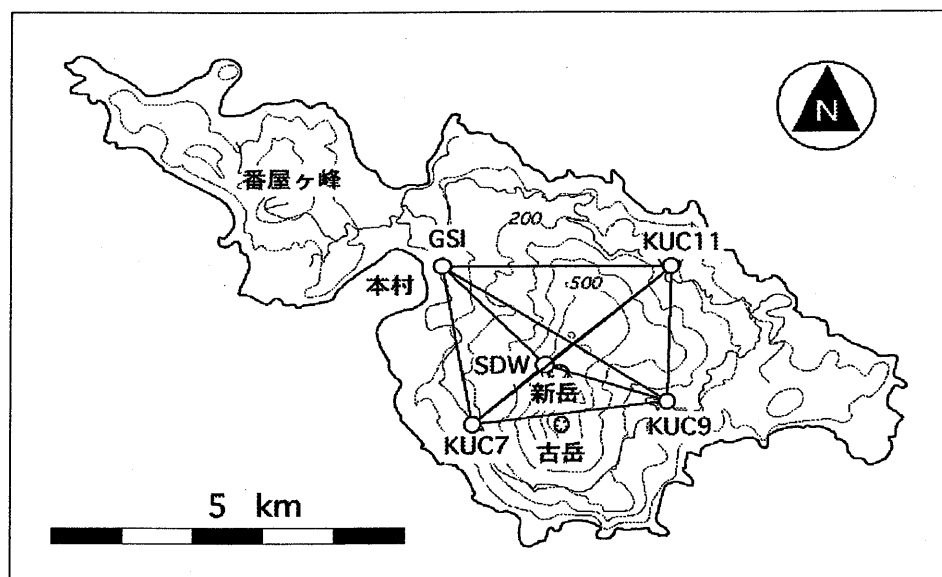
Sakurajima Volcano Research Center, DPRI, Kyoto University

口永良部島火山において2004年4月から連続GPS（1周波）観測を行っている。配点状況は第1図の通りであり、最も活動的な新岳の山頂付近および山体を囲むように設定した。観測点のうち、山頂部のSDW点はテレメータ化しており、Web公開されているGSI点（国土地理院の電子基準点#960725を利用させて頂いた）のデータとともにリモートで取得可能である。その他の観測点は現地収録したデータを適宜手動で回収している。

また、山頂部の4カ所に反射鏡を設置し、番屋ヶ峰およびKUC9点の東側の2地点から、2004年9月に第1回のEDM観測を行った。

GPS基線長と3成分の相対変化を第2図に示す。この期間では、高低差の大きな基線の上下および斜距離成分に気象の影響と考えられる変化が見られる他は、有意な変動は認められない。

なお、本観測は、主として京都大学防災研究所一般共同研究経費（16G-11）を使用した。



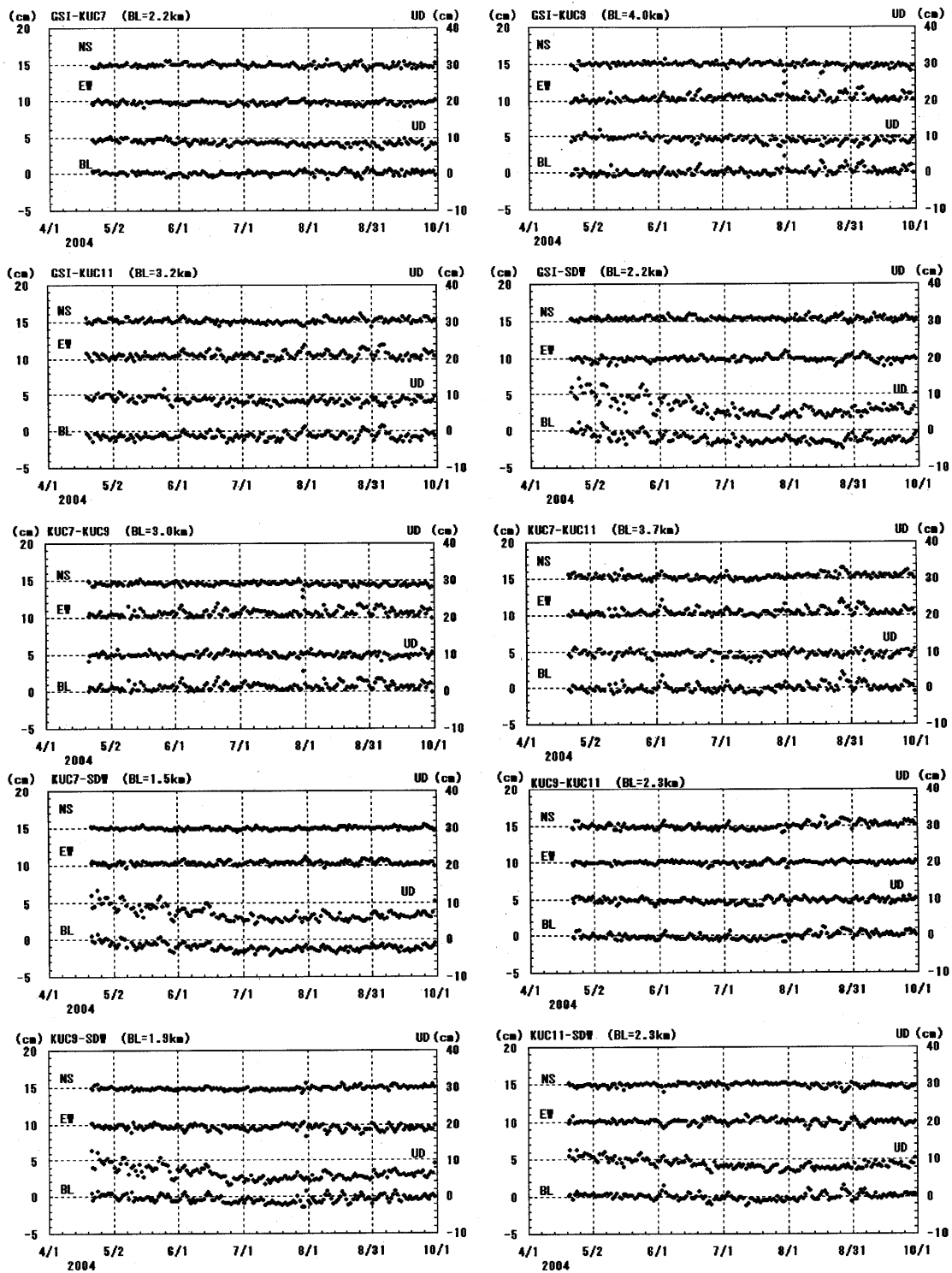
第1図 GPS配置

Fig.1 Location of GPS observation stations.

\* Received 28 January, 2005

斎藤英二\*\*・井口正人\*\*\*・篠原宏志\*\*

Eiji Saito, Masato Iguchi and Hiroshi Shinohara



第 2 図 GPS 観測結果

Fig. 2 Results of continuous GPS observations.